生研30周年に当たって

11代所長　武藤義一

生産技術研究所が創立されて30年が過ぎたことを思うと，まことに感慨無量のものがある．とくに私にとってはこの30周年に際して停年退官することになるので，いまさらながら光陰矢の如しという諺がほんとうであることを実感する，また少年老い易く学なり難しという朱子の詩もまことにそうであると今に至って後悔している．

私は生来なまけ者であったし，幼年時代は病弱でもあったことから，勉強も研究も十分にすることができなかった．しかし良い先生や先輩，良い友人や後輩，良い学生諸君に恵れたので，どうやら研究も少しできたし，とくに光栄ある生研の所長にも選出され，東大の各学部や各研究所だけでなく全国の文部省の所轄研究所の方々をはじめ文部当局の方と親しくおつき合いすることができ，生研の特長というものを改めて認識することができたことは大変に幸いなことであった．

そういうこともあって私の想い出の主なことは3年間の所長時代に集中しているような感じである．複合材料技術センターや，多次元画像情報処理センターの設置，千葉実験所の動的破壊実験室や，複合材料実験室の新営，さらには海外調査団の派遣などがあたかも昨日のように想い出される．さらに6カ年続いた第1次と第2次の都市災害公害防除に関する大型プロジェクト研究（臨時事業）および現在進行中の省資源のための新しい生産技術開発の特別研究は，所内の多数の教官が共同で行う大型研究として各方面から注目を浴びているだけでなく，ややもすると生研だけがうまいことをしているという非難めいた批判のあることも忘れてはならないことと思う．

さて，このようなことがどうして生研で可能であったかと考えると最大の原動力は教官各位の底力とでも申しましょうか，断然すぐれた研究成果であり，それに加えて互譲の精神を必要に応じて発揮してくださるということである．いつか茅誠司先生にお目にかかったとき，「生研ではあの無尽みたいなことを今も続けているのか」というお尋ねをいただいたことがあったが，これは特審の行っている選定研究のことであった．いまでも行っているだけでなく，数年おきに存続するか廃止するか審議したうえで継続している旨をお答えしたところ，生研の教官には危機意識があり，そのために教官各位が自分の割当研究費のかなりの分を供出して限られた教官に配分し，その成果を速やかに促進させることができるのだし，それが基になって生研全体としての成果もあげられるのだなあ，というご感想をうかがうことができた．このような例は人事において，いっそうはっきりしていて，各部間で話し合いで定員の貸借りを行い，乏しい定員をもっとも効率よく運用できるのも，もしかすると生研だけのことかも知れないと思われる．

私が研究室にいたときには，このようなことがあたり前のことと思われて，別に気にとめなかったけれど，井の中の蛙，大海を知らずのたとえの通りで，所長になって他部局の様子や全国の各研究所の様子を知るに及び，このことがいかに珍しいことであり，所長にとっていかに有難いことであるかを痛感させられた．私事で恐縮だが研究所長の方々のお話をいろいろ伺っているなかで，教授総会や教授会の前になると胸が痛むということが折々の話題になったが，まことに幸いなことに所長在任中そういうことは一度もなかった．所長専決と称して，かなり勝手な振舞もしたが教官各位の寛容のおかげで，さして追求もされなかったし，また私が鈍感で気がつかなかったのかも知れないが，まことに安心して運営をさせていただけた．そのかわりに三十数回に渉って激しい組合交渉が行われたが，その前後の一週間は気分がすぐれず暗い気持で過ごさざるを得なかってが，教官各位の後楯と特に交渉補佐の先生方に激励され，どうやら過ごすことができた次第です．

最後に，どうしても申したいのは事務部の諸氏の全力を尽しての努力に対する感謝である．部門増でもセンター設置でも大型研究費でも，実によく頑張っていただいたと思う．とくにいま進捗中の大型改装を見ても，その任にあたられる事務部の方々（もちろん各部事務室の諸氏を含めて）のたいへんの努力を見て，こんなきつい仕事に手をつけない方がよかったのかな，とふと考えることがあるほどである．とにかく生研の将来は明るく発展を信じて疑いないところである．